

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	量子・物質工学特別実験第二		
英文授業科目名	Advanced Laboratory in Applied Physics and Chemistry 2		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	通年	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法	実験	単位数	6
科目区分	電気通信学研究科-量子・物質工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学専攻		
担当教官名	各指導教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>各専門分野の第一線の研究や開発をリードできる研究者・技術者に必要な実践的な研究遂行能力を磨く。具体的には、調査・研究テーマの設定・実験計画の立案・実験・結果の考察とフィードバック・研究成果の発表などの一連のプロセスを主体的に実施する。研究テーマに関連する自らの理工学的基礎技術を発展させる。さらには、将来の研究分野の変化にも柔軟に対応でき自ら研究課題を設定し自立して解決できるように、研究に対する自らの方法論を確立することを目指す。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
量子・物質工学特別実験第一、またはそれと同等の科目

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
研究テーマに関連する基礎科目群

<b>【教科書等】</b>
各指導教員の指定による

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>各指導教員の指導を受けながら所属研究室において研究活動を行う。特別輪講第二、特別演習第二とあわせて行い、完成度の高い博士論文の作成を念頭に置き、優れた研究成果を得ることを目指す。</p> <p>本科目は1年次から修了年次にわたって履修すべき必修科目である。          なお、本科目は時間割表には記載されていない。特別実験の遂行、それに対する準備と取り纏め等は指導教員の指導のもとに行う。</p>

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

<b>【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】</b>
研究課題の設定・立案・実施・考察・成果の発表を通じた当該学生の達成度、研究成果の内容、当該学生の研究に対する姿勢を勘案して総合的に評価する。それらの十分な達成度に対して合格を与える。
<b>【オフィスアワー：授業相談】</b>
各指導教員の指定による
<b>【学生へのメッセージ】</b>
研究者・技術者としての将来の基礎をつくる科目である。全力で取り組むことを望む。
<b>【その他】</b>
特になし